

だれでもいつでも

ボラ ン テ ィ ア



ボランティアを支える**募金**がある？

みなさんは社会や身近な地域で活躍するボランティアの方たちを影で支えている「**赤い羽根共同募金**」のをご存知ですか？毎年、10月から3月が**募金活動期間**になっていて、特に10月から12月の3か月間は全国各地で募金活動が行われています。

募金に協力してくれた方には「赤い羽根」や赤い羽根のイラストなどがプリントされたグッズなどを渡して「ありがとう」の気持ちを届けています。

募金には7つの方法があって、みなさんになじみのある方法は「**学校募金**」という方法です。働いているお父さんやお母さんは「**職域募金**」という方法で募金しています。各家庭からの「**戸別募金**」が一番多くのご協力をいただいています。

発行元:西都市ボランティアセンター

社会福祉法人西都市社会福祉協議会
〒881-0034
西都市妻町1丁目73番地
(西都市生きがい交流広場内)
TEL 0983-32-0910
FAX 0983-32-0909
HP <https://www.saito-shakyo.jp>



スマホで読み込んでみてね♪



赤い羽根



どうして「赤い羽根共同募金」をするの？

私たちのすむ街には、お年寄りや障がいのある人、子育て中の人など、くらししていくのに助けが必要な人たちがいます。みんながくらしやすくなるお手伝いをするために、みんなでちょっとずつ助けあう。それが「赤い羽根共同募金」です。

助けが必要な人たちのために、いろいろなボランティア団体などが活動しています。活動に必要なお金を1人で出すのは大変なことだけど、みんなでちょっとずつ寄付すれば、より多くのお金が集まって、たくさんの人が活動にかかわることができます。

また、ボランティア団体などがバラバラに募金活動をする、どこへ寄付すれば良いか迷ってしまいますよね。だから「**共同募金**」としてまとめて募金活動をして、共同募金会が必要なお金に公平に分け合っています。



どんな人たちがこの募金で集まったお金で活動しているの？

この募金で集まったお金は誰でも使えるということではありません。社会や地域の為に「**どんな活動をするのか**」、「**誰のためにするのか**」、「**どんな方法でするのか**」を計画して、「共同募金委員会」に届け出ます。そこで、審査を行い、それぞれのやりたいことに必要なお金を公平に分け合い（配分）します。

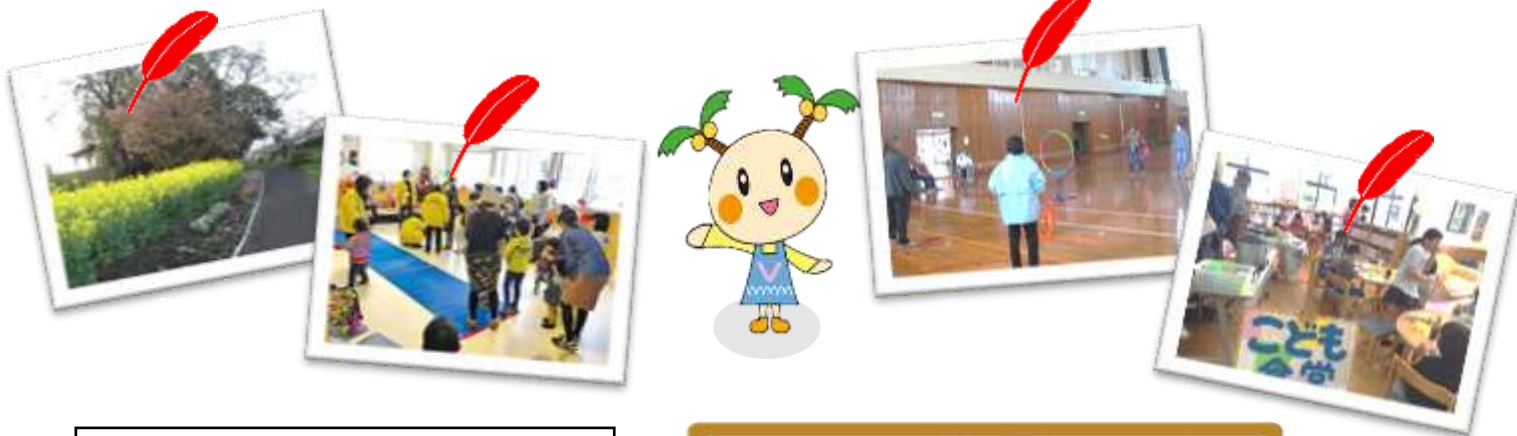
たとえば、西都市では**児童館**で企画される「**子育て支援**」や「**子ども食堂**」、**西都市身体障がい者福祉協会**が企画する「**スポーツ交流**」、**西都市視覚障害者福祉会**が企画する「**視覚障害者の社会参加**」（社会参加とは、**みんなで楽しく外出する（遠足の）**ようなことです）、そして西都市ボランティア連絡協議会という組織では**ボランティアの仲間づくり**などに活用されています。また、社会福祉協議会では**身近な地域で行っている高齢者等の仲間づくり・居場所づくり**などに活用しています。

ボラセン（ボランティアセンター）のある西都市生きがい交流広場では、ボランティアグループあじさい会が「**おもちゃライブラリー**」（おおよそ5歳以下の子どもと親子の交流の場所）を毎週、開催しています。夏休みや春休みには、小学生向けに工作教室もしていますよ。



西都市ではどのくらいの募金が集まるの？

令和元年10月～12月の**募金総額**は**5,190,965円**でした。そのうち、1,548,000円は宮崎県内で活動しているボランティア活動に活用されて、残りの**3,642,965円**が**西都市内のボランティア活動**に活用されました。



ほかにも、「赤い羽根共同募金」のことで知りたいことがあったら、「**あかいはね子ども相談室**」に電話してみてください。

「あかいはね**子ども相談室**」
フリーダイヤル 0120-137-741
午前10時～午後4時
（土、日、祝日、年末年始はお休み）



先生・PTAの皆さまへ

本会では、小中学生はもちろん、地域の皆さま向けに福祉に関する学習会や福祉体験プログラムがございます。授業の一環やPTA活動の行事等にご依頼いただければ、日程を調整の上おうかがいします。

※ご依頼内容に応じて新型コロナウイルス感染防止策を講じた支援を検討させていただきます。